

令和8年度第1回大東清掃センター公害防止対策協議会会議録

- 1 会 議 名 令和8年度第1回大東清掃センター公害防止対策協議会
- 2 開催日時 令和8年7月10日（金）午後2時から午後2時57分まで
- 3 開催場所 大東清掃センター2階研修室
- 4 出席者

- (1) 委 員 及川和彦会長、佐藤隆博副会長、佐藤義信副会長、
佐藤斎博委員、佐藤美心委員、佐藤悦男委員、
千葉幸司委員、金安信委員、佐藤文橋委員、
木村英美子大東支所市民福祉課長、
今野勝裕千厩支所市民福祉課長
- (2) 事務局 佐藤正幸事務局長、
小野寺健大東清掃センター所長、
藤野満大東清掃センター副所長

5 報 告

- (1) 令和7年度施設の稼働状況について
- (2) 令和7年度各種測定結果について
- (3) 令和7年度施設周辺住民健康診断受診者数について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 なし

8 開 会

所 長 会議に先立ち、委員の任期が令和8年7月10日までとなっていることから、各自治会から推薦いただいた方々に机上面にて委嘱状を交付させていただくのでご了承願う。

なお、千葉栄生委員、門馬功委員から欠席の連絡がありましたのでご報告する。

協議会規定第5条第2項の規定に基づき協議会の開催要件は委員の半数以上の出席が必要となり、本日14人中11人が出席しているので会議は成立する。

所 長 これより協議会を開会する。

9 挨拶

会 長 本日はお忙しいところご出席いただき感謝申し上げます。今年度第1回の協議会では、施設の稼働状況と各種測定結果などについての報告がある。皆様

の忌憚のない意見をお願いします、挨拶とさせていただきます。

事務局長 本日は、お忙しいところ公害防止対策協議会へご出席いただき感謝申し上げます。

また、日頃から当組合の管理運営につきましては、多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当組合が進めている新しいごみ焼却施設、リサイクル施設の建設に係わる取組状況について、一昨年12月に弥栄字一ノ沢地内の国道284号沿いにおいて敷地造成工事に着手しており、本年3月に組合議会の議決を得て、株式会社タクマ東京支社を代表企業とする共同企業体と建設工事の請負契約を締結した。工期は令和12年7月までを予定しており、同年8月の稼働開始を目指して現在事務を進めている。

一方、新しい最終処分場については、建設予定地の千厩字北ノ沢地内において本年1月から3月まで立木の伐採、搬出を行い、本年度には敷地造成などの入札を行い施工業者を決定することとしている。

当組合では、引き続き一関市民、平泉町民の皆様にも両施設の建設に向けた取組状況について、広報紙などにより情報提供を行っていくのでご理解とご協力をお願いする。

本日の協議会では、定例報告である令和7年度の施設の稼働状況や各種測定結果、健康診断受診者数について報告する。担当から説明させるので率直なご意見をいただきたい。

今後も施設の運転管理には万全を期してまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

10 【報告事務の説明】

3つの報告について、(1)から(3)まで一括でご報告させていただきます。

報告(1) 令和7年度施設の稼働状況について

報告(2) 令和7年度各種測定結果について

報告(3) 令和7年度施設周辺住民健康診断受診者数について

会 長 報告(1)の施設の稼働状況の説明について、質問や意見等はないか。

委 員 再度確認のため伺うが、可燃ごみの搬入量に対して、焼却量が約2,000トンぐらいの差がある。前回伺った際に、繰越貯留分も焼却しているので同じ量とはならないと回答いただいたがもっと要因があるのか改めて伺う。

事務局 焼却する際に、ごみのカロリー調整のため、水をごみに噴霧して調整している。その水分の重量分も焼却量に含まれることも要因となっている。

会 長 他に何かあるか。

委 員 なし。

会 長 報告(2)の各種測定結果について、質問や意見等はないか。

委 員 8ページの土壌中のダイオキシン類濃度測定結果で、昨年度と数字がかなり低くなっているが、測定業者が違うのか。

事務局 令和6年度と令和7年度は測定業者が違う。土壌の採取場所の基準点は一緒だが、測定業者により、土のサンプルを採取する場所の設定がそれぞれ異なる。そのため、測定数値の変動はあるが、基準値以内であり、採取場所による数値の違いが確認できており、問題はないと捉えている。

会 長 他に何かあるか。

委 員 8ページの土壌中のダイオキシン類濃度測定結果を見ると年々徐々に減ってきていることが分かる。②の採取場所変更前の測定結果と変更後の測定結果の違いを見るとかなり違うのは変更した場所が表土を削った場所であり、変更前の採取場所は第2世代目の焼却施設から発生したダイオキシン問題でかなり飛散していたのではないかと推測される。徐々に減少してきているのは以前に蓄積されたものが自然分解などで減ってきていると思われることやバグフィルター付きの現施設からはダイオキシンが飛散されていないことがこの測定結果表で確認できると認識できるが、そのような認識で捉えて良いか伺う。

事務局 測定結果の経過から見て、採取場所により測定数値の変動はあるが自然分解などにより減少傾向にあることが考えられる。また、焼却施設の測定結果においても低い数値となっていることから、そのように捉えていただいて結構である。

委 員 以前のダイオキシン飛散問題を踏まえ、忘れないように対処していただきたい。

事務局 承知した。

会 長 他に何かあるか。

委 員 なし。

会 長 報告(3)の施設周辺住民健康診断受診者数について、質問や意見等はないか。

委 員 受診者が前年度より増えているのは、長者地区では、通常の健診よりエコー検査や腫瘍マーカー検査などの検査項目が多く人間ドックに近い項目の検査であることから受診するよう進めている。そのため受診者が増えていると要因と思われる。他の地区でもさらに周知すれば受診者が増えると思う。

意見として申し上げておく。

事務局 承知した。

会 長 その他について、事務局から何かあるか。

事務局 こちらからは特にないが、皆様方から何かあればお願いします。

委 員 指定ごみ袋が不足し大変なようだが、ごみ袋の値段が店舗により差がある。

他の自治体では統一値段で販売しているところもあるようだ。組合でもそのような取り組みが必要ではないか。公衆衛生組合の会議で、前は自治会にごみ袋を配布していたが今はスプレーを配布している。ごみ袋の配布に戻していただきたいと話した経緯があるが、今年もスプレーが配付された。ごみ袋問題もあるので分かる範囲で結構なので見解をお聞きしたい。

事務局 指定ごみ袋の値段については、統一できれば良いとは思いますが、指定ごみ袋を取り扱うメーカーが数社あり、製造が中国製の物は国産製に比べてまだ安いようだが、国産製は原料の高騰などもあり値段も上がってきている。ごみ袋については、メーカー側では通常量を出荷している様だが、買占めなどの影響で、店舗により品薄状態がまだある。そのため、指定袋以外の使用を8月末まで認め、代替袋でも出せることで周知している。店舗の在庫調査も毎週実施しながら状況について様子を見ているところである。

所 長 組合の方では、指定ごみ袋の単価設定については、ごみ袋の製造業者に製造許可という形をとっている。業者により単価設定が異なる。また、問屋を経由して仕入れている商店などでは単価が変わってくる。現在指定ごみ袋については、4社のうち3社の袋が大東清掃センター管内で流通している。以前は450（大）のサイズが安い所で330円程度だったが現在は380円、高い所で現在659円と倍近くになっている店舗もある。代替袋も使いづらいなどの理由もあり、指定袋が店舗に並ぶとすぐ売り切れる状況である。一関の方の店舗でも700円台と高くなっている指定袋も完売となっている状況である。指定袋については、他の自治体では製造許可ではなく指定袋を委託により製造している所、北上市のようにごみ袋に処理手数料を含めた形で販売している所、当組合のような形でおこなっている所、単価を統一した形で行っている所もある。

事務局 スプレー配布の件については把握していないので分かりかねる。

委 員 旧東磐環境組合で出していた指定袋の使い方について伺う。

事務局 8月末までは、旧指定袋も種類に関係なく代替袋として使用していただいていた結構である。それ以降は、旧指定袋の使い方では該当種類別に使用していた

できれば無くなるまで使っていただけるのでご使用いただきたい。

会 長 その他に何かあるか。

委 員 なし。

会 長 報告については以上とする。

11 役員選出（会長）

会長には、羽根折沢自治会長の佐藤義信委員にお願いしたい。

委 員 異議なし。（佐藤義信委員に決定）

12 役員選出（副会長）

副会長には、長者自治会長の佐藤隆博委員、町下自治会長の及川和彦委員
にお願いしたい。

委 員 異議なし。（佐藤隆博委員、及川和彦委員に決定）

13 閉 会

所 長 本日の公害防止対策協議会を閉じさせていただく。

14 担 当 課 大東清掃センター